病児保育かるがもだより 2025 冬号

少しずつ寒さも増して冬本番がやってきました。寒暖の差が大きくなり、これからの季節空気が乾燥するため様々な感染症が流行しやすくなります。病気に負けない体をつくるためにも生活リズムを整え、感染対策を行いながら寒い冬を乗り切りましょう。

RS ウイルス感染症

RS ウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。

RS ウイルスは年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時にはより重症化しやすいといわれており、特に生後６ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。生後１歳までに 50%以上が、２歳までにほぼ 100%の乳幼児が少なくとも一度は感染する、とされています。

症状・・発熱、鼻汁、咳
約３割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。

治療・・基本的には症状に応じた治療（対症療法）を行います。重症化した場合には酸素投与、点滴、呼吸管理などを行います。

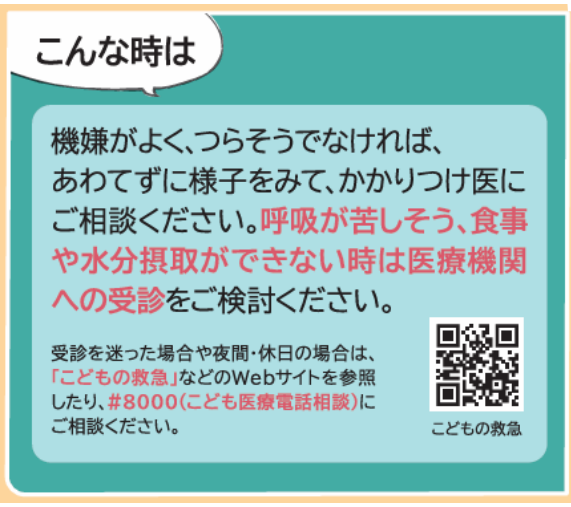
感染経路・・RS ウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。

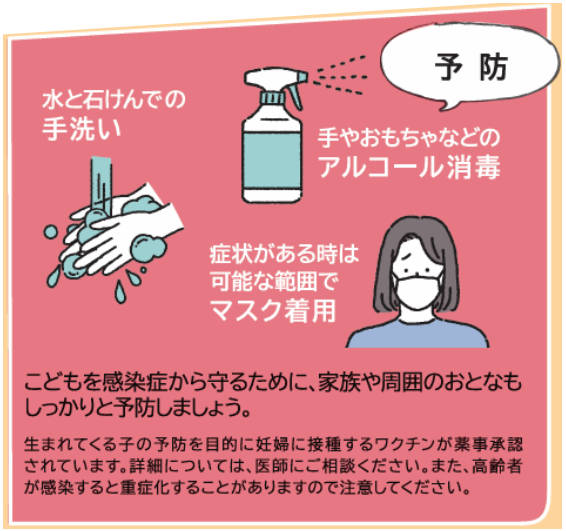
潜伏期間・・2～8日

登園の目安・・熱などの症状がなくなって普段通り元気そうであれば登園可能です。

【予防と対策】

日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒し、流水・石鹸による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生を行うことが重要です。また鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合は、マスクが着用できる年齢の子どもや大人はマスクを使用することが大切です。





引用：厚生労働省ホームページ

病児保育かるがもって どんなところ？

お子さまが病気中だったり病気回復中に、保護者の方の仕事の都合などで家庭での保育が難しい時に利用できます。
お預かり中は病気の回復に向けてゆっくり体を休めたり、その日の体調や年齢に合わせた遊びをしたりします。お子さまや保護者の方が安心して過ごせる場所を目指しています。

〈病児保育を利用できない病名・症状〉

病名　コロナウイルス感染症

症状・全く食事、水分が摂れない場合
・点滴が必要な場合
・症状がひどく、保護者様と一緒にいることが望しいと医師が判断した場合

〈10 月・11 月に利用された方の病名〉

咽頭炎・鼻咽頭炎・気管支炎
マイコプラズマ感染症・胃腸炎
RS ウイルス感染症・溶連菌感染症
インフルエンザ A 型

～お願い～

- アンケートを 12 月半ばまで実施しています。ご協力をお願いします。
- クリニックでお会計をされてから病児保育へお迎えに来て下さい。病児保育入口で領収書の提示をよろしくお願いします。